

グローバル通信



特集「ACS International と音楽交流」

2015/06/09

NO.20

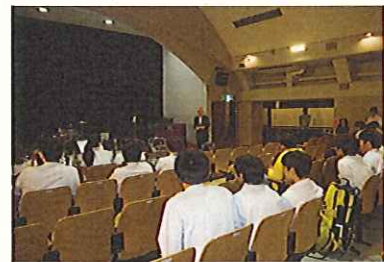
グローバル教育部の本年度の活動目標の一つとして「アジア・アフリカ諸国との交流」があります。本校は海外研修を通して、欧米諸国との交流機会はありませんでしたが、アフリカは勿論のこと、隣国の韓国や東南アジアの国々と接する機会がありませんでした。しかし、現在は数学科や理科の教員を中心としてモンゴルの学校との交流も始まりました。(近日中にグローバル通信でも特集を組みます)また、6月下旬には、高校2年生が「World Scholar's Cup」世界大会出場のためにマレーシアのクアラルンプールに行きます。そして7月下旬には、高校1年生が2名「日韓経済協会」主催の「日韓高校生交流キャンプ」参加のため、ソウルに行く予定になっています。

では、この度の「ACS International」との交流のきっかけを説明しましょう。

今年の2月、「一般社団法人 アフリカ開発協会」を訪れる機会がありました。この協会の学生支援グループの代表を本校の卒業生が務めているということもあり、アフリカ諸国との交流の可能性を伺いに行ったのです。話の中で、アフリカの国々は日本に対してとても友好的であり、中高校生がアフリカを訪れることはまだまだ難しいにしても、駐日大使や留学生との交流なら可能であることが分かりました。このプランは近いうちに実現しようと考えています。

さて、肝心の「ACS International」との交流のきっかけですが、「アフリカ開発協会」の職員の方が、「NPOリトル・クリエイター」という団体の理事を務めていらっしゃることを知りました。この団体は、アジアの恵まれない児童の就学支援などを主な活動としています。活動の中心はチャリティーコンサートの開催ですが、他にも音楽などの芸術を通して日本の学校と交流する機会をもうけています。そこで、海城の生徒との「音楽交流」はできないものかと考えたわけです。

今回は、シンガポールの「ACS International」のオーケストラ15人が来日。本校には6月3日(水)に来校しました。当日は中学生が校外研修の日のため、高校生だけで迎えました。迎え入れたメンバーは、「音楽交流」ということもあり、高3のブラスバンド有志とグローバル同好会の生徒達でした。



司会進行は、高3の嘉悦君。海城の音楽プロデューサーは、高3の亀山君でした。



3時45分、柴田校長のご挨拶で会が始まりました。やや緊張した空気の中、「ACS International」の演奏が始まりました。やがて、講堂には澄んだバイオリンの音色が響き渡ります。軽やかなピアノの音色も加わります。こうして、約40分、数曲が演奏されました。



次は海城生の番です。まずは、嘉悦君の篠笛。そして亀山君を中心にジャズの演奏。「ACS International」の生徒達は緊張感がまだ抜けないのか、あるいは音楽性の違いか、とてもおとなしくしています。

しかし、和楽器の紹介に引き続き「お囃子」の演奏が始まると、彼らの表情も和み、演奏が終わると大きな拍手。

続いて、海城生による和楽器の指導。最初は遠慮がちにしていた「ACS International」の生徒も次々に登壇し、和楽器の習得に熱中。そして海城生と一緒に演奏。大成功に、講堂内は大きな拍手喝采で大興奮。



和楽器の演奏練習も一通り終わると、今度はグローバル同好会のメンバーも混ざっての交流会。海城生も日頃鍛えた英語を必死に使うて対応。中には女子と仲良くしている生徒もちらほら。

その後も会は盛り上がり、メールアドレスの交換などをしたりして、終了予定時間を30分オーバーし、5時30分に終了しました。

「ACS International」の生徒達も名残惜しそうに、前庭で記念写真を撮ったりして帰りました。

「ACS International」は1886年開校の、シンガポールでも名門進学校として知られています。大統領や政財官のトップを多く輩出しているそうです。今回の交流会に来日した生徒も将来はシンガポールを引っ張っていく人たちになっているでしょう。その時には、海城で過ごした一時を是非思い出して欲しいものです。

またこのような機会を持ちたいと思います。

〈裏面もあります〉



ご子息を留学させている皆さんへ

現在、海外の学校に留学中、或いは夏から留学するという高校生は10名近くいます。ご存じのように、本校では中学生の時、親の仕事の関係で海外の学校に転校し、高校1年間も現地に留まるという場合でも、一定の条件をクリアすれば、高校1年間を留学に変えることも可能です。(早めに担任もしくはグローバル教育部にご相談下さい) 生徒手帳に掲載されている「留学規定」を是非お読み下さい。

さて、こんな声を最近耳にしました。

A「息子は今年、高校1年生の8月から留学するけれど、二学期からの学年保護者会やクラス保護者会には出られないのかしら？」

B「息子は去年、高校1年生の8月から留学したけれど、今年の6月の保護者会は出てもいいのかしら？ 出るとしたら、1年生の会に出るのかしら？ 2年生の会に出るのかしら？」

確かに迷うところです。というよりも、今まではこのことに関して、何も話はなかったのではないのでしょうか。申し訳ありませんでした。

このほど、以下のように決定しましたので、お考えの上、是非保護者会への出席をお願いします。

【A】の場合

学年・クラスとも高校1年生の所属となります。一学期同様、所属学年、所属クラスの保護者会にご出席下さい。出席しなくても構いません。

【B】の場合

帰国後の編入手続きが済まない限りは、高校1年生の所属となります。名簿上は、高校1年のどこかのクラスに所属することになります。従って高校1年の学年保護者会、所属クラスの保護者会に出席することは可能です。しかし、高校2年生に編入する予定であれば、高校2年の学年保護者会、所属予定のクラス保護者会に出席することは可能です。

高校1年生の場合は、秋にコース分け・選択科目の話があるので、保護者会には出席していた方がよいです。

高校2年生の場合は、一学期から修学旅行の話があるので、保護者会には出席した方がよいです。ただし、高校2年に編入するのではなく、高校1年に留まるのであれば、4月以降は新高1の学年会・所属クラスの会に出席して下さい。

どのような選択肢を選ぶにしても、必ず学年主任とクラス担任にはその旨ご連絡下さい。